

## 兵庫きのこ研究会 2025 年度スライド映写学習会 レポート

日時：2025 年 11 月 9 日（日）

会場：丸山コミュニティセンター

当日はあいにくの雨空でしたが、それをものともせずきのこに情熱を傾ける、十数名の参加者で開催されました。今回、演題は例年よりちょっと少なめでしたが、各自が独特の視点からまとめた興味深い発表内容で、和気藹々としたディスカッションが行われました。以下に演題の概要を紹介します。

### 1) あいなキノコ（N さん）

「あいなクラブ」であいな里山公園のきのこ調査をされている中嶋さんより、2024 年 8 月以降に公園で観察された、きのこの紹介がありました。再度公園に負けず劣らない多様な種があり、それぞれのキノコの特徴や見分け方も解説され、とても参考になりました。ホンセイヨウショウロと野生動物の関係等、図鑑では得られない貴重なお話が聞けました。

### 2) 最近気になるきのこのこと（S さん）

きのこ歴 3 年とのことでしたが、子供の頃に読んでいた植物図鑑のきのこのページのお話から始まり、長いきのこ愛を感じました。当時の図鑑に載っていたマツタケ科が、種の分類の変遷を経て、今の図鑑では無くなってしまった経緯を、わかりやすく時系列にまとめられていました。

### 3) きのこと観察にまつわる再度公園の環境（W さん）

きのこの発生に重要な、再度公園の自然環境について、いろいろな資料で分かりやすく解説いただきました。土壌の性質や植生の話だけでなく、公園の管理方針など、どのように自然に介入すべきか考えさせられるお話もありました。また、本研究会が公開している観察記録データを使った分析も、興味深い内容でした。

4) 子囊菌類の胞子はなぜ8個？（Mさん）

子囊菌類の胞子が8個である理由を、細胞分裂の仕組みや、菌類独特の「2核共存体」の話を変えながら説明いただきました。なんとなく理解できたように皆が思っていたところに、Nさんから「胞子が8個じゃない子囊菌類もある」との指摘があり、菌類の謎はさらに深まりました。

5) きのこと合宿(富士山)の報告（Nさん）

今年9月のきのこと合宿(富士山)について、きこの写真やスナップ写真を交えてご報告いただきました。合宿に参加されなかった方にも、楽しげな雰囲気伝わったかと思ひます。